

平成 22 年 1 月 20 日

統合 DB プロジェクト 平成 22 年度業務計画の評価依頼について

文部科学省ライフサイエンス課

1. 趣旨

平成 22 年度は最終年度にあたることから、各機関には最終成果を明確にした目標設定とその実現に向けた具体的な計画策定をお願いしております。特に DB は単に開発するだけでなく、利用していただくことに価値があることから、最終的な開発等は遅くとも上期末（9 月）迄とし、下期は利用評価とユーザーニーズによるブラッシュ等、利用価値を高めることに注力していただくようお願い致しております。

一方ご存知の通り、本プロジェクト終了後は、JST で新たに設置される組織において、本統合 DB プロジェクトで培われた成果や実績を継承することになっております。但し、プロジェクト全体として大幅な予算の削減も想定され、本プロジェクトのすべての課題を継承するのは困難な状況にあります。

したがって、文部科学省では、プロジェクト成果が JST の新組織に確実に引き継げるよう、平成 22 年度業務計画を精査することにより、着実な事業執行をたく考えております。

そのため、各機関が策定した業務計画について、当該分野の有識者でもある作業部会委員の皆様からのご意見等を参考にさせていただきたく、ご協力をお願い致します。

2. 業務計画精査の基本的考え方

- ・ 継承し得る成果となるものか否かという観点で業務計画を精査する。
- ・ 継承し得る成果については、確実に成果を出すような目標設定や業務計画とする。
- ・ 一方、成果が不明確で到達が見込めそうにないもの、あるいは成果として引き継ぎ難いものについては、途中でもあっても中止、開発を止める等の業務計画とする。

3. 依頼内容

- ・ 各機関の提出した平成 22 年度業務計画書および関連の説明資料、及び作業部会分科会での説明等を参考に、機関毎に「評価シート」を記入願います。
- ・ 利害関係のある機関については除外してください。
- ・ 記入後は、ライフサイエンス統合 DB センター事務局へ提出願います。

【締め切り：2 月 3 日、E-Mail：dbcls-jimu@dbcls.rois.ac.jp FAX:03-5841-8090】

4. その他

- ・ 平成 22 年度業務計画書は委員限りとし、厳重に管理し、評価後は破棄願います。
- ・ 記入いただいた評価シートは、予算配分をする際の参考のために使用させていただきます。高木主査、事務局関係者及び文科省限りの秘密情報扱いとします。
- ・ 予算配分の論拠として、評価シートの内容を使用する（外部に出す）場合は、委員個人が特定できない形式にします。

評価シート

評価者： _____

機関名： _____

※以下の評価項目について、該当していると判断する箇所のチェック欄口に、
チェックを付けて下さい。
問題が無い場合は結構ですが、判断の根拠となる理由も記入願います。

① 成果目標の明確さ、分かりやすさ（成果イメージ）

- 目標が明確であり、分かりやすい。
 加筆・修正等を施せば改善可能である。
（改善点： _____）

- 抜本的に見直す、書き直す必要あり。
（詳細： _____）

② 成果はJSTに引継ぐに値する成果か。

- そう思う。 難しい。 引継ぐ必要はない。 わからない。

詳細： _____

③ 達成可能性（9月末時点での成果見込みについて）

- 達成可能な業務内容であると判断する。
 業務項目、内容を修正、変更すれば可能と思われる。
（詳細： _____）

- 達成可能な業務内容か判断できない。
（詳細： _____）

- その他
（詳細： _____）

④ 業務内容と予算計画の妥当性

- 業務内容に合った予算計画になっていると判断する。
 業務内容に見合わない、あるいは不要な予算が計上されていると思われる。
（詳細： _____）

- その他
（詳細： _____）

⑤ 総合的な意見、コメント等

詳細： _____